

令和元年度東部地区道徳教育研究協議会

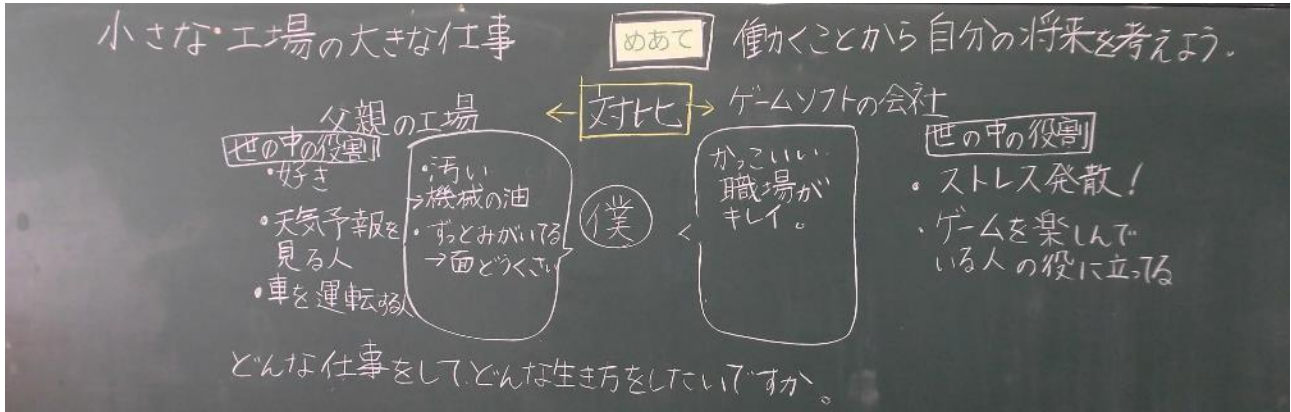
久喜市立久喜中学校

【B部会（2学年）】

主 題 名 社会への貢献

内容項目 C 勤労

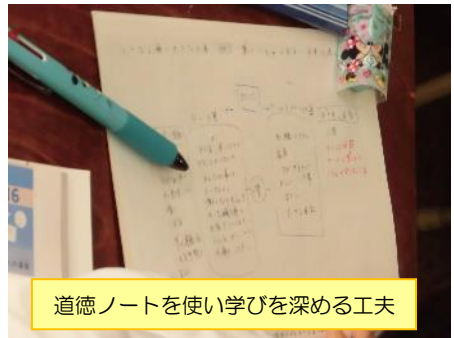
教 材 名 「小さな工場の大きな仕事」  
（日本文教出版「あすを生きる2」）  
「埼玉の子ども70万人体験活動」  
（彩の国の道徳「自分を見つめて」）



彩の国の道徳の活用



ねらいに迫る発問の工夫



道徳ノートを使い学びを深める工夫

## 1 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

### 【①ねらいに迫る最後の問いについて】

- ノートを集め紹介し考えを共有する点がよかった。
- 話し合いの場の工夫やねらいに迫る発問の工夫があるとよい。

### 【②黒板の使い方について】

- 対比の構造にしているので分かりやすい。
- ICTの活用や職場体験学習の写真などを見せてもよい。

### 【③多角的に物事を捉える教師の話について】

- 生徒にとって身近でリアリティのあるものだった。
- 職場体験学習に行っているなのでその学びを活かす工夫が入るとさらによかった。



## 2 指導講評

○本時のねらいである働くことの大切さは、生徒はすでに理解している。そこにさらなる気づきのある授業にするため、教師のねらいをはっきりとさせることが大切である。そのためには教師自身も生徒とともに考えていくことが必要である。

○教材の「僕」の変化について、中心発問や話し合いの場面で考えられるとさらによかった。また、生徒が自分事として考えを深めることができる場を工夫するとよい。

○生徒がどんな大人になってほしいかを考えながら、楽しみながら道徳の授業を行ってほしい。

